

(株主通信)

第158期 中間報告書

2018年4月1日から2018年9月30日まで

CONTENTS

NSK at a glance	1
トップメッセージ	3
NSKグループのCSR	6
グローバルネットワーク	7
株主アンケート結果のご報告 ...	8
連結財務諸表(要旨)	9
会社情報／株式情報	10

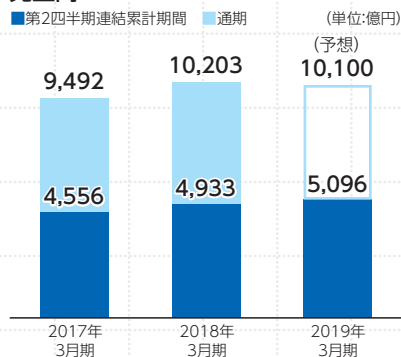


NSK at a glance

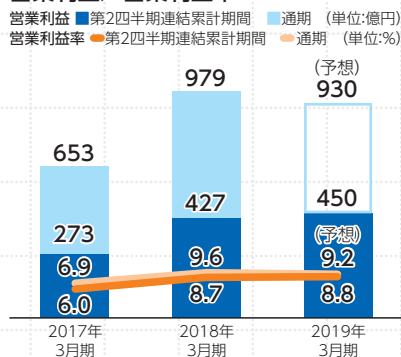
決算のポイント

- 産業機械事業：堅調に推移し、増収増益。
特に、精機製品は半期ベースで過去最高。
足元の需要動向は調整局面へ。
- 自動車事業：電動パワーステアリングの減少を、
パワートレインビジネスの成長でカバーし増収。

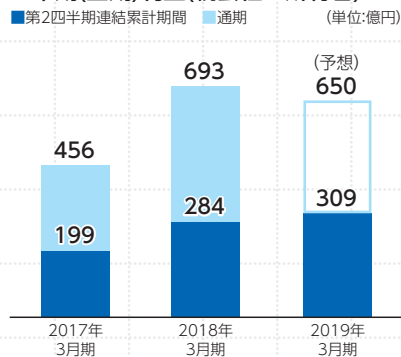
売上高



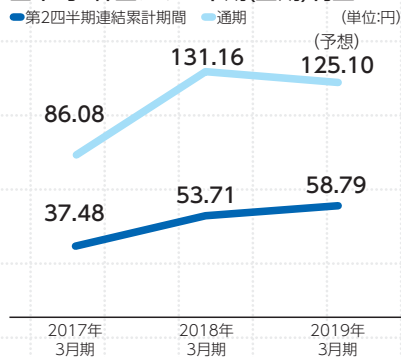
営業利益／営業利益率



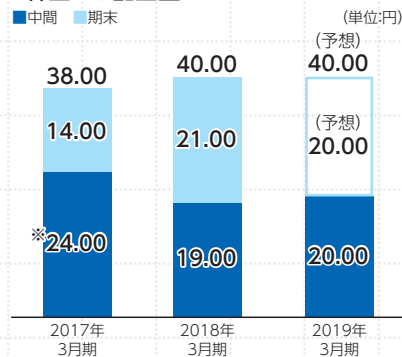
四半期(当期)利益(親会社の所有者)



基本的1株当たり四半期(当期)利益



1株当たり配当金



*記念配当10円を含む



3月期
連結累計期間
構成比

自動車事業
70.2%

その他 3.1%
売上高 161 億円

産業機械事業

産業機械軸受

精機製品

主 要 製 品



工作機械用精密軸受



ボールねじ



自動調心ころ軸受

売上高 1,359 億円
(前年同期比 7.1% )

自動車事業

自動車軸受

自動車部品

主 要 製 品



自動変速機用ニードル軸受



クラッチアッセンブリ



電動パワーステアリング



ハブユニット軸受

売上高 3,576 億円
(前年同期比 1.5% )



ステークホルダーとの価値の協創によって 持続可能な社会の実現と 企業の発展を目指していきます。

株主の皆様におかれましては、一層のご指導、
ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役 代表執行役社長・CEO 内山 俊弘

MOTION & CONTROL™

NSK

企業理念

NSKは、MOTION & CONTROL™を通じ、円滑で安全な社会に貢献し、地球環境の保全をめざすとともに、グローバルな活動によって、国を越えた人と人の結びつきを強めます。

経営姿勢

- 1 世界をリードする技術力によって、顧客に積極的提案を行う。
- 2 社員一人ひとりの個性と可能性を尊重する。
- 3 柔軟で活力のある企業風土で時代を先取りする。
- 4 社員は地域に対する使命感をもとに行動する。
- 5 グローバル経営をめざす。

(NSK企業理念体系より)

● 中間配当について

当期の中間配当金は下記のとおりです。

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. 中間配当金 | 1株につき20円 |
| 2. 中間配当の効力発生日
並びに支払開始日 | 2018年12月3日(月) |

連結決算の概況

当第2四半期連結累計期間の世界経済を概観すると、全体としては拡大が続きましたが、米国を発端とした貿易摩擦の深刻化、新興国の通貨安や資源価格の高騰などによる景気の下振れリスクが懸念されています。地域別にみると、日本経済は消費の持ち直しと設備投資の増加により成長を維持しました。米国経済は個人消費や設備投資の増加を受け堅調に推移しました。欧州はユーロ圏を中心に緩やかな景気拡大が続きました。中国は米国との貿易摩擦の影響により、成長に減速傾向がみられました。その他アジアは、一部で通貨安の不安があるものの、内需に支えられ成長が継続しました。

このような経済環境下、連結業績は、売上高が5,095億76百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益が449億64百万円(同5.2%増)、税引前四半期利益が451億4百万円(同6.3%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益が309億41百万円(同9.0%増)と、増収・増益となりました。

なお、今回の中間配当金につきましては、予定通り1株当たり20円を実施させていただきました。期末配当

金は同20円を予定しており、合わせて年間配当額は同40円(前期同額)となる見込みです。

中期経営計画の総仕上げへ

当期は、3カ年にわたる第5次中期経営計画の最終年度です。本計画では、「オペレーショナル・エクセレンス(競争力の不断の追求)」をテーマに掲げ、強靱な現場力の実現と、生産・販売・技術・管理の各機能の体質強化により、コア事業の一層の競争力向上を目指しています。業績目標については、「営業利益1,000億円」「営業利益率10%」の達成に最後までこだわっていきます。

もう一つのテーマである「イノベーション&チャレンジ(あたらしい価値の創造)」では、将来に向けた新技術・新製品の創出と、スマートファクトリー化に関する成果が少しずつ見えてきており、引き続き取り組みを加速します。また、アメリカとドイツに設けたイノベーションセンターを通じて、欧米における技術トレンドの把握やM&Aなどのチャンスを探索していく考えです。

産業機械事業は、グローバル生産能力の最適活用を進め、アウトプットの最大化を図ります。同時に、自動検査やデジタル技術の導入により、高度化する市場の品質要求レベルに対応し、お客様の信頼獲得につなげます。自動車事業は、AT関連製品など成長分野の供給体制を整えるとともに、下流アシストタイプのEPSの量産受注を早期に確定させ、実車搭載に向けた開発をスピードアップしていきます。

ステークホルダーとの価値協創

私たちは、多くのステークホルダーとの信頼関係の上に成り立っている事業活動を通じて、すべてのステーク

ホルダーとさまざまな価値を協創し、社会への貢献を果たしていきたいと考えています。

お客様との価値協創では、当社製品への要求・要望を待つだけでなく、お客様から見たエンドユーザーがどのようなニーズを持っているのか、という観点で先回りし、スピーディーな取り組みで世の中の変化に対応していくことが求められます。そうした積極的な技術提案やビジネスプロポーザルから生まれる新たな価値をお客様とともに創り上げ、お客様の事業成長を支えながら、環境貢献や円滑で安全な社会の実現につなげていくことが重要です。

価値協創において社員に求められるのは、意識改革であると感じています。会社の外に出て、実際に体験することで、世の中の変化や進化の速さに触れ、自分の目で社会のニーズを捉えることが大切です。そして会社としても、社員が自分の能力を十分に発揮できる、働きやすい職場づくりを進めていく必要があります。これまでも経営層と社員との対話の場を重要視してきましたが、その機会をより増やし、社員との双方向の対話を活性化させ、一体感のある経営につなげていく考えです。

材料・部品・設備などの取引先との協創では、当社から一方的に調達方針を伝え、パフォーマンスを要求するだけでなく、取引先から建設的な意見や提案をいただける関係づくりが大切です。また、多種多様なエンドユーザーやマーケットと我々をつなぐ重要な接点である代理店・販売店については、それぞれの強みや優位性を尊重しながら、補修・市販マーケットにおいて信頼されるブランドを目指します。

未来を担う次世代も大切なステークホルダーに位置づけており、当社では毎年、科学技術館(東京都千代田区)において小学生向け科学教室を開催し、子どもたちに科学への興味を持ってもらう場を設けるなど、多くの取り組みを継続的に実施しています。(P6ご参照)

そして株主・投資家の皆様との協創では、エンゲージメント(対話)の機会を増やしています。業績関連のIR活動以外にも、特にESG(環境・社会・ガバナンス)に関する多くの対話を重ねてきました。今後も継続的な取り組みを進めていきます。

持続可能な社会への取り組み

2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」では、2030年までの国際目標として17項目のゴール(*)が掲げられました。我が国の産業界においても、各企業が目標達成に向けた取り組みを推進中です。

当社では、「SDGs」を社員一人ひとりに意識してもらう啓蒙活動を実施しています。次のステップとしては、事業との関連付けや活動の具体化について議論し、来期から始まる次期中期経営計画で指針と目標を示します。

取り組みの柱は、本業である製品・サービスを通じて、環境面での負荷をできるだけ小さくしていくことに変わりはありません。どれだけ環境に貢献しているのかを納得していただける指標(KPI)等を提示することで、一般の方々にも理解してもらえる工夫を検討しています。

「つくる責任 つかう責任」に関連する例としては、マテリアルバランス(事業活動における投入資源量と排出量)における効率改善が挙げられます。その中でも、製造面のさらなる進化を目指す取り組みが「スマートファクトリー」の構想です。すでにモデルラインが設置されていますが、省スペース・省エネルギー・省人化をコンセプトに、次世代のモノづくりを模索しています。生産効率や労務費効率の向上だけでなく、環境負荷を抑え、従業員にとっても安全で働きやすい生産現場の整備を進めています。2017年10月に立ち上げた韓国の天安工場は、そうした狙いを形にしたものです。(P7ご参照)

さらなる成長の実現に向けて

現在の課題は、ステアリング事業の減少を収益面において産業機械事業と自動車のステアリング以外の事業でしっかりと支えていくことです。技術革新が生み出す新たな需要に関連する成長分野を見据え、当社の差別化技術をもって拡大できる領域を特定し、持続的成長を目指します。今後のキャッシュ・フローの使途については、そのための戦略投資を優先していく方針です。

そして、多様性をもった企業文化・風土を社内に根付かせ、未来を拓く競争力の源泉を確保するとともに、海外のグループ社員も含む全体のベクトル合わせによって、進むべき方向性を全社で共有し、前進してまいります。

今、社会を取り巻く環境は複雑化し、企業に対する期待や責任も多岐にわたっています。NSKが事業活動を通じ各ステークホルダーとともに世界の持続的成長に寄与していくためには、社会から必要とされる存在でなくてはなりません。NSKは、時代のニーズに合致し世の中の期待に応える価値の協創によって、社会への貢献と企業としての発展の両立を目指していきたいと考えます。

株主の皆様におかれましては、これからも長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(*)国連総会で掲げた2030年までに達成すべき17項目のゴール





子ども科学教室を開催 ～エンジニアの仕事疑似体験～



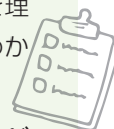
NSKは、「科学技術の振興」、「次世代の育成」、「地域社会との共存共栄」の3つを社会貢献活動の重点分野に位置づけ、研究機関への助成や奨学金の給付、インターンシップの受け入れ、工場見学会や科学教室の開催など、幅広い活動を展開しています。

毎年、科学技術館（東京都千代田区）と共同で開催している「子ども科学教室」は、エンジニアの仕事の疑似体験を通して子どもたちに科学の不思議を実感してもらい、科学に興味を持ってもらうことを目指しています。今年3月に開催した本イベントには、36名の児童が参加しました。

参加した子どもたちは、「鎌倉の大仏を動かすには、何人の子どもの力が必要か？」という問題を、エンジニアの視点で解いていきました。まず、重量120トンもの巨大な大仏を引っ張って動かすのに必要な力を計算するため、まさつを体験しながら学びます。次に、物の重さを測定しそれを動かすための必要な力を検討し、大仏の代わりに大人を台に載せて引っ張る実験で答えを検証しました。最後に行なったのは、ベアリングの構造を理解するためのベアリングの組み立て体験です。子どもたちからは、「大仏を動かすのに必要な人数が計算でわかることがおもしろかった」「ベアリングの組み立てが楽しかった」など歓声があがりました。

- ！ 重量120トンの鎌倉の大仏を動かすには、小学生3,600人の力が必要です。下に「ころ」を置いて転がしながら引っ張れば、小学生120人の力で動かす事ができます。

日本が技術立国として世界をリードし、より豊かに発展していくためには、科学技術の振興が重要であり、そのためには科学技術を担う次世代の人材の育成が不可欠だとNSKは考えています。今後もNSKは、子どもたちの科学への興味を高め、社会に貢献していきます。





天安工場概要

拠 点 名 韓国NSK社 天安工場

所 在 地 韓国 忠清南道 天安市

生 産 品 目 自動車用軸受

工場規模 敷地面積：約9万㎡

建築面積：約2万㎡

従業員数：約200名

操業開始 2017年10月

投資金額 約50億円

グローバルネットワーク (海外拠点のご紹介)

天安工場 (韓国)



最新鋭の自動化設備を備えた、働きやすい工場

オートマチックトランスミッション(以下AT)の需要拡大やその効率化の進展によって、NSKの高性能なベアリングの需要が増大しています。このため、2017年10月に韓国で2つ目の工場が操業を開始し、AT向けの高品質なベアリングをグローバルに供給しています。

NSKは、韓国で30年前に生産を開始し、品質、コスト競争力、納期対応力で市場の信頼を獲得してきました。今回新設した天安工場では、韓国事業で長年培ってきた製造技術を活かすとともに、安全で働きやすい生産現場を実現しています。



生産現場



工場の生産状況をリアルタイムで把握する最新のシステムを導入

天安工場の特長

① 高い生産効率

設備を統合制御する最新の生産システムにより生産性や品質を向上させています。また、最新鋭の自動化設備により従来は難しかった組み立て工程の自動化を実現しています。

② 環境への配慮

照明や空調などの電力は、敷地内の太陽光パネルや風力での発電も活用しています。

③ 働きやすい職場

自然光を室内に最大限取り入れるほか、職場の無臭化や騒音低減を進めています。

株主 ひろば

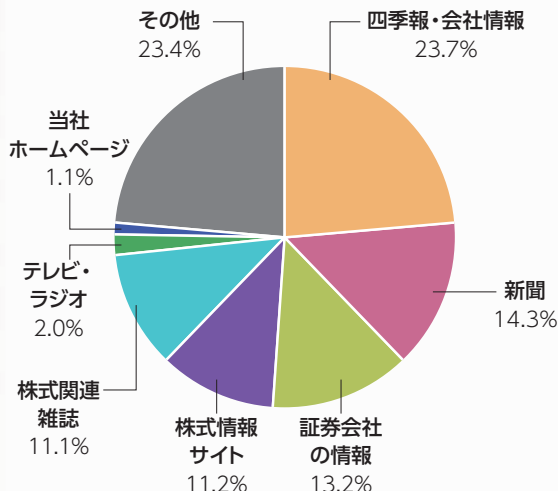
株主様との
コミュニケーション

株主アンケート結果のご報告

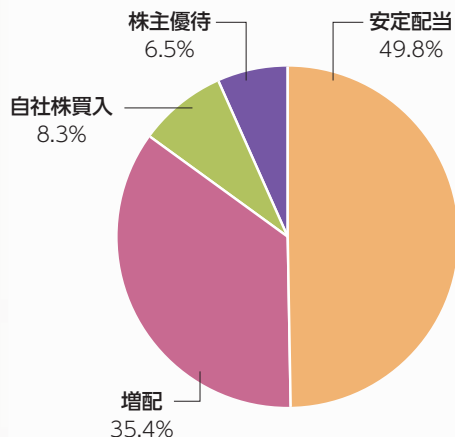
調査対象: 28,541名
調査期間: 2017年12月1日～2018年1月15日
返送率: 11.6% (3,300名 / 28,541名)

2017年12月に実施しましたアンケート結果の一部をご報告いたします。
ご回答いただきまして、まことにありがとうございました。

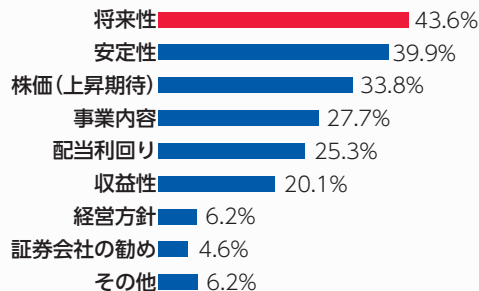
Q1 当社を知ったきっかけについて



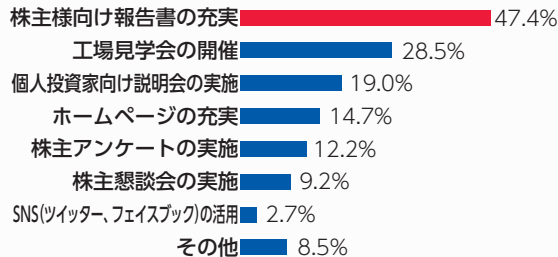
Q2 株主還元策として期待するもの



Q3 当社株式の購入理由 (複数回答)



Q4 株主還元策以外で今後期待すること (複数回答)



Q5 その他のご意見や期待すること

- 将来展望の明るさのPR・新しい事業展開を期待します(男性)
- テレビで会社の活躍を放映して欲しい(女性)
- 安定した信頼のおける経営をして下さい(女性)
- 会社が挑戦する新しい技術の紹介をお願いします(男性)
- 基幹部品メーカーとして愚直に経営に邁進して欲しい(男性)
- 最近ラジオでコマーシャルを聞く様になりました。暫く続くと良いなと思います(女性)

四半期連結財政状態計算書

単位：百万円

科 目	2019年3月期 第2四半期 連結会計期間 (2018年9月30日)	2018年3月期 連結会計年度 (2018年3月31日)
資産		
流動資産	506,425	511,346
現金及び現金同等物	121,079	131,283
売上債権及びその他の債権	208,191	217,200
棚卸資産	158,236	143,052
その他の流動資産	18,918	19,808
非流動資産	590,984	580,964
有形固定資産	355,346	351,875
無形資産	18,501	18,191
その他の非流動資産	217,136	210,898
資産合計	1,097,410	1,092,310
負債		
流動負債	314,950	307,960
仕入債務及びその他の債務	133,483	141,797
その他の金融負債	121,629	109,168
その他の流動負債	59,838	56,994
非流動負債	208,835	223,335
金融負債	130,681	143,009
退職給付に係る負債	18,398	18,954
その他の非流動負債	59,754	61,371
負債合計	523,785	531,296
資本		
資本金	67,176	67,176
資本剰余金	80,179	80,264
利益剰余金	382,717	362,859
自己株式	△ 28,580	△ 17,815
その他の資本の構成要素	49,609	44,689
親会社の所有者に帰属する 持分合計	551,102	537,175
非支配持分	22,523	23,839
資本合計	573,625	561,014
負債及び資本合計	1,097,410	1,092,310

四半期連結損益計算書

単位：百万円

科 目	2019年3月期 第2四半期 連結累計期間 (2018年4月 1日 ～2018年9月30日)	2018年3月期 第2四半期 連結累計期間 (2017年4月 1日 ～2017年9月30日)
売上高	509,576	493,325
売上原価	394,745	383,076
売上総利益	114,831	110,249
販売費及び一般管理費	71,174	68,865
持分法による投資利益	2,727	2,829
その他の営業費用	1,419	1,479
営業利益	44,964	42,734
金融収益	1,356	1,306
金融費用	1,217	1,601
税引前四半期利益	45,104	42,439
法人所得税費用	12,479	12,014
四半期利益	32,624	30,424
(四半期利益の帰属)		
親会社の所有者	30,941	28,383
非支配持分	1,683	2,041

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科 目	2019年3月期 第2四半期 連結累計期間 (2018年4月 1日 ～2018年9月30日)	2018年3月期 第2四半期 連結累計期間 (2017年4月 1日 ～2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,085	43,445
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 32,919	△ 17,047
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 26,062	△ 13,786
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 307	1,918
現金及び現金同等物の増減額（△：減少）	△ 10,203	14,530
現金及び現金同等物の期首残高	131,283	139,573
現金及び現金同等物の四半期末残高	121,079	154,103

※四半期連結財務諸表は、国際会計基準(IFRS)に基づいて作成しています。

会社概要

会社名	日本精工株式会社 (NSK Ltd.)
本社	東京都品川区大崎一丁目6番3号
設立	1916年 (大正5年) 11月8日
資本金	672億円
従業員数	7,905名 (NSKグループ 31,890名)
主な事業内容	産業機械軸受、精密機器関連製品、 自動車軸受、自動車部品の製造及び販売

役員

取締役 (代表執行役社長)	内山 俊弘	取締役*	金 和明
取締役 (代表執行役専務)	野上 宰門	取締役*	古川 康信
取締役 (代表執行役専務)	鈴木 茂幸	取締役*	池田 輝彦
取締役 (代表執行役専務)	神尾 泰宏	取締役*	馬田 一
取締役 (執行役専務)	後藤 伸夫	取締役*	望月 明美
取締役 (執行役常務)	市井 明俊	※社外取締役	
取締役	榎本 俊彦		



執行役専務	麓 正忠	執行役	三田村宣晶
執行役常務	波田 安継	執行役	山之内 敬
執行役常務	井上 浩二	執行役	福田 和也
執行役常務	鈴木 寛	執行役	スティーブン・ベックマン
執行役常務	宮崎 裕也	執行役	石川 進
執行役常務	エドヴァン・フアン	執行役	新子 右矢
執行役常務	小林 克規	執行役	郁 国平
執行役常務	篠本 正美	執行役	御地合英季
執行役常務	織戸 宏昌	執行役	明石 邦彦
執行役常務	入谷 百則	執行役	阿知波博也
執行役常務	山名 賢一	執行役	鈴木 啓太
執行役常務	吉清 知之	執行役	近江 勇人
執行役	高山 優	執行役	村田 珠美
執行役	伊集院誠司	執行役	継本 浩之

株式の状況

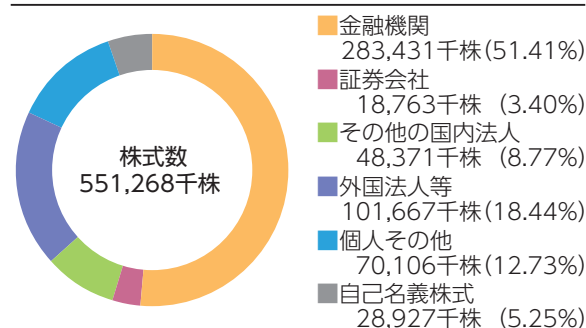
発行可能株式総数	1,700,000,000株
発行済株式総数	551,268,104株
株主数	43,840名

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	43,858	8.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	28,253	5.41
明治安田生命保険相互会社	27,626	5.29
富国生命保険相互会社	27,600	5.28
日本生命保険相互会社	27,543	5.27
株式会社みずほ銀行	18,211	3.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社トヨタ自動車口	10,709	2.05
トヨタ自動車株式会社	10,000	1.91
株式会社三菱UFJ銀行	8,675	1.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	8,005	1.53

(注) 持株比率は、自己株式 (28,927千株) を控除して計算しています。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	同取次所	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店
定時株主総会	6月	公告方法	電子公告にて行います。 http://www.jp.nsk.com/account/index.html 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載する方法により行います。
配当の基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日		
株主名簿管理人	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社		
特別口座の 口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社		
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話センター 0120-288-324 (フリーダイヤル)		

- 住所変更等については、株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行にお申出ください。
- 未受領の配当金については、みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店でお支払いします。



NSKホームページの投資家情報サイトのご案内

NSKは「投資家情報」サイトに社長メッセージや決算説明資料、財務・業績情報、株式情報などを掲載しています。また、株主の皆様により深くNSKのことをご理解頂くために開示情報の内容充実に努めています。

▶ 投資家情報 <http://www.nsk.com/jp/investors/>

主 な 内 容

- ◎ 社長メッセージ
- ◎ 経営方針
- ◎ IR資料室
- ◎ 財務・業績情報
- ◎ 個人投資家の皆さまへ
- ◎ 株式・格付情報
- ◎ IRカレンダー
- ◎ IRに関するお問い合わせ

外部機関からの 評価(SRI/ESG)

財務面だけではなく、環境・社会面での高い評価を併せ持つ企業は、長期的に持続可能な成長を期待される企業と認知され、SRI (=Socially Responsible Investment 社会的責任投資)の対象としてだけではなく、幅広い投資家からますます重要視されています。NSKは、世界的にその信頼性が認められた以下の代表的なSRI/ESGインデックスに組み入れられています。(2018年9月現在)



<http://www.sustainability-indices.com/>



<http://www.ftse.com/products/indices/FTSE4Good>



<http://www.ftse.com/products/indices/blossom-japan-jp>



http://forumethel.org/content/ethel_sustainability_index.html



<http://www.vigeo-eiris.com/>



<https://www.issgovernance.com/esg/>



<http://www.morningstar.co.jp/sri/index.htm>

NSK

日本精工株式会社
ホームページアドレス
▶ <http://www.nsk.com/jp/>

UD
FONT

